



記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

調査者氏名

年産	作物	都道府県	地域センター	作柄表示地帯	作況階層	標本単位区	筆番 通し号
西暦	水稻						
2 0	:	:	1 1 0	:	:	:	:

市町村	旧市町村	農業集落	調査区	経営体	緯度 度 分	経度 度 分	標高 m
:	:	:	:	:	:	:	:

共済引受方式			筆種類		地方設定コード								継続年数
一筆	半相殺	全相殺	標本筆	基準筆	A	B	C	D	E	F	G	H	
1	2	3	1	2	:	:	:	:	:	:	:	:	

筆の所在地	市町村	大字	丁目	番地	電話番号
耕作者住所	市町村				農家の刈取り予定日 月 日

1 観察・聞き取り事項

品 種 (品種名)	種 類	作 期		普通作区分			栽 植 採 取 式						種 期 月 日	田 植 期 月 日	出 穂 期 月 日	
		早 期	普 通	一 期 作	二 期 作	早 生	中 生	晩 生	機械植え 種 苗	中 苗	成 苗	手 植 え				ほ ぼ ま き
:	:	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	:	:	:

農家の刈取り期 月 日	刈取り時の倒伏程度					農家の刈取り方法				筆の作付面積 a	逃し筆	肥培管理の良否		選別しているか	にしている幅	玄米選別形態	
	I	II	III	IV	V	普通型	コンバイン	バインダ	刈脱バ			条数	良				否
:	1	2	3	4	5	1	2	3	4	:	:	1	2	3	:	:	:

(作況基準筆調査のみ)

水管理の実施期日							
間断かん水		中干し		深水管理()回		高温時のかけ流し()回	
開始期日	終了期日	開始期日	終了期日	開始期日	終了期日	開始期日	終了期日
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
:	:	:	:	:	:	:	:

落 水 期 月 日	施 肥 期 日				10a当たり窒素投入量					
	基 肥	追 肥			基 肥	追 肥				
		中間追肥	穂 肥	実 肥		(銘柄)	中間追肥		穂 肥	(銘柄)
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	kg	kg	kg
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

窒素投入量つづき		10a当たり有機質肥料投入量				除 草 回 数	散 布 回 数	病 害 回 数	土 性		
追肥つづき									砂 壤 土	壤 土	埴 土
実 肥	たいきゅう肥	緑 肥	生わら	その他		回	回	回	(砂質系)	(中間)	(粘質系)
(銘柄)	(種類)	(種類)	(種類)	(種類)	kg				kg	kg	kg
:	:	:	:	:	:	:	:	:	1	2	3

(記入注意)

- 倒伏程度は、全倒伏(I)、一部穂が地につく(II)、半倒伏(III)、直立と半倒伏が半々(IV)、倒伏なし(V)に区分し、該当番号を○で囲む。
- 緯度、経度、標高及び土性欄については関連資料に基づき記入すること。
- 10a当たり窒素投入量については、数回に分けて施肥する場合、その合計量を記入すること。

4 2 1 1

2 栽植密度

畝幅・株間測定	畝幅〔11けい間の長さ〕				株間〔11株間の長さ〕				1 m ² 当たり株数(けい長)				刈取り数				
	I	cm				cm				株(cm)				株			
	II									.							
	III									.							
	合計	(1)				(2)								:			
	平均	(3) (1)/30				(4) (2)/30				.							
(5)	1 m ² 当たり株数 $\frac{10,000}{(3) \times (4)}$				株				1 m ² 当たりけい長 $\frac{10,000}{(3)}$				cm				

3 刈取り調査

刈取り日		月		日		露		有		無					
刈取り方法		3 m ² 当たり整数株刈り		①		調製方法		総合選別機		①					
		3 m ² 刈り		②				段ぶるい		②					
刈取り試験料	全量				縮分重量				1回		2回		合計		
	未調製生もみ重	:	:	:	:	g	重量	g	g	g	g	g	g	g	g
	未調製乾燥もみ重	:	:	:	:	g	粒数	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒
	粗玄米重	:	:	:	:	g	重量	g	g	g	g	g	g	g	g
	玄米重	:	:	:	:	g	粒数	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒
	くず米重	:	:	:	:	g	重量	g	g	g	g	g	g	g	g
玄米水分	:	:	:	:	%	粒数	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	
				10a 当たり換算率				再選別歩合							
				$\frac{1000}{\text{縮分重量}} \times \text{全量}$											

段別重量測定	総量		2.20		2.10		2.00		1.95		1.90		
	1回	g	g	g	g	g	g	g	g	g	g	g	
	2回												
合計	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
		1.85		1.80		1.75		1.70		1.60		底	
		g		g		g		g		g		g	
		:		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

調査箇所略図	標本単位区内	生育、登熟の特徴
全けい数 n=	水稻作付筆数	
間隔 $\frac{1}{3}$ n=	筆	
ランダム		
スタート a = 第		

(記入注意)

- 1 合筆の上調製した場合は、合筆調製整理表から千粒重等を転記する。
- 2 総合選別機により調製した場合のくず米重は1.6mm目以下、粗玄米重は玄米重とくず米重の合計重量とする。

4 草丈・茎数・穂数・もみ数調査

調査所	調査株号	月 日調査		月 日調査					月 日調査					月 日調査			
		草丈	茎数	全穂数 (茎)	穂数	無効穂数	有効穂数	全もみ数 最高穂	もみ数 下・2	全穂数 (茎)	穂数	無効穂数	有効穂数	全もみ数 最高穂	もみ数 下・2		
I	1	cm	本	本	本	本	本	粒	粒	本	本	本	本	粒	粒		
	2																
	3																
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	小計																
II	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	小計																
III	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	小計																
合計	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)					
平均(M)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18) $\frac{(11)+(12)}{20}$	(15)	(16)	(17)	(18) $\frac{(11)+(12)}{20}$							
1㎡当たり(M)×(5) ただし(22)=(18)×(21)	(19)	(20)	(21)	(22) 100粒	(20)	(21)	(22) 100粒										

(記入注意)

- 1 穂数調査ですじまき(植)の場合は60cm間について調査する。
- 2 出穂開花期に当たり周辺4箇所調査を行う場合は、ほ場の4辺の中央において第4列目の10株ずつ、合計40株を調査する。ただし、次回に規定の箇所ですじまきについて調査を行う。
- 3 全もみ数調査は、筆内の穂数調査箇所ごとに3、4、3、計10株について行う。調査株は箇所ごとの平均有効穂数に近い株とし、調査方法は当該株有効穂の最高穂とかん長順位で下位より2番目の穂の全もみ数を調査する。

5 稔実歩合調査（作況基準筆調査のみ）

出穂期後		日調査		(月 日 調査)								
(23) 株の有効穂数の合計		本		(24) 株の生穂重		g		(25) 株の生もみ重		g		
うち上記の100g(又は50g)ずつ	回数	比重選により浮いたもみのうち				比重選により沈んだもみのうち				全もみ数		
		不稔実もみ数		稔実もみ数		不稔実もみ数		稔実もみ数				
	1回	粒		粒		粒		粒		粒		
	2回											
	合計	(イ)		(ロ)		(ハ)		(A)				
(B) 沈下もみ数 (ロ)+(ハ) 粒				(C) 稔実もみ数 (イ)+(ハ) 粒								
(26) 100g調査より 株当たりへの換算率(25)/100 (単位) 0.01				(31) 生穂重(24)/(23) g				(35) 生穂重(24)*(27) g				
(27) 株当たりより1㎡当たりへの換算率(21)/(23)		有効4けた		(32) 全もみ数(28)/(23) 粒				(36) 全もみ重(25)*(27) g				
株当たり	(28) 全もみ数(A)×(26) 粒		1穂当たり		(33) 沈下(29)/(23)もみ数 粒		1㎡当たり		(37) 全もみ数(28)*(27)(100粒)		:	
	(29) 沈下もみ数 (B)×(26) 粒				(34) 稔実(30)/(23)もみ数 粒				(38) 沈下(29)*(27)(100粒)もみ数		:	
	(30) 稔実もみ数 (C)×(26) 粒								(39) 稔実(30)*(27)(100粒)もみ数		:	
(40) 沈下もみ数歩合 (38)/(37) %				(41) 稔実歩合 (39)/(37) %								

(記入注意) 調査株数は地方農政局長、北海道農政事務局長、沖縄総合事務局長又は取りまとめた地域センター長が定める

6 被害・共済減収調査

被害状況	被害の種類	発生時期	損傷項目	損傷程度	見積り被害歩合	平年比較			
						総合	多	並	少
						気象被害	多	並	少
						病害	多	並	少
						虫害	多	並	少

実測筆の10a当たり見積り収量	10a当たり未調製生もみ重(kg)	回掃線(Y)	掃線中の10a当たり収量(kg)	図表から選んだ点10a当たり収量(Y) %	図表から選んだ10a当たり収量(kg)	選んだ理由(晴天続き・雨天早刈り・適期刈り被害甚・中・軽その他)	10a当たり筆平均見積り収量(kg)
-----------------	-------------------	--------	------------------	-----------------------	---------------------	----------------------------------	--------------------

通し番号	標本筆の字地番	引受方式及び補償割合①	方式2割超過判定②	10a当たり共済基準収穫量③	10a当たり平年収量④	10a当たり見積り収量⑤	10a当たり基準収量⑥	見積り被害歩合														
								被害総合														
調査筆				kg	kg	kg	kg															
(1)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(2)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(3)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(4)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(5)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(6)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(7)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

←←← 入力方向